

I H I 建機

コンクリートポンプ車

適用範囲		モデル名		IPG100B-8E26/4	IPG100T-16E	S34X		
		主仕様	吸吐弁型式	—	揺動弁	揺動弁	揺動弁	
			最大吐出量	m ³ /h	100/65	100/55	138	
			最大吐出圧力	MPa	8.1/5.2	15.9/8.6	8.5	
			アーム最大地上高	m	26	—	34	
適用号機		DR20001～		DK10001～	DJ0001～			
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値				
作業装置	圧送装置	ポンプ本体	ピストンストローク回数	回/min	30/19.5±1	31/17±1	27±1	
			ローター回転数	回/min	—	—	—	
			(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(1600)	(1800)	(1800)	(±)
			(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)	(—)
			(作動油温度)	(℃)	(50±5)	(50±5)	(50±0)	(±)
	真空ポンプ	攪拌装置	回転速度	min ⁻¹	31±2	35±2	±	±
			チェーンのたわみ	mm	—	—		
			(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(1600)	(1800)	(±)	(±)
			(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)	(—)
			(作動油温度)	(℃)	(50±5)	(50±5)	(±)	(±)
	ブーム装置	シリンダー自然降下量	圧力設定値 (設定値到達時間)	Pa (min)	— (—)	— (—)	— (—)	(—)
			圧力降下許容値 (保持時間)	Pa (min)	— (—)	— (—)	— (—)	(—)
			Vベルトのたわみ	mm	—	—	—	
			ブーム (1) シリンダー	mm	1	—	1	
			ブーム (2) シリンダー	mm	1	—	1	
☆ブームシリンダー作動時間		ブーム (3) シリンダー	mm	1	—	1		
		ブーム (4) シリンダー	mm	1	—	1		
		ブーム (5) シリンダー	mm	—	—	—		
		(測定時間) (作動計測条件) (作業装置姿勢)	(min) [図面No.]	(10) (—) [図 No. 1]	(—) (—) [図 No.]	(10) (—) [図 No. 1]	(—) (—) [図 No.]	
		ブーム (1) 伸び	sec	40±10	—	70±10	±	
洗浄装置	水ポンプ (配管洗浄用)	縮み	sec	60±10	—	70±10	±	
		ブーム (2) 伸び	sec	65±10	—	100±10		
		縮み	sec	60±10	—	105±10		
		ブーム (3) 伸び	sec	60±10	—	65±10		
		縮み	sec	60±10	—	65±10		
	空圧機	ブーム (4) 伸び	sec	50±10	—	50±10		
		縮み	sec	50±10	—	50±10		
		ブーム (5) 伸び	sec	—	—	—		
		縮み	sec	—	—	—		
		(油圧ポンプ回転数) (作動油温度) (作業装置姿勢)	(min ⁻¹) (℃) [図面No.]	(1600) (50±5) [図 No. 3]	(—) (—) [図 No.]	(1800) (50±5) [図 No.]	(±) (±) [図 No.]	

☆印：新車基準値を表す（参考値）。

[illegible]

I H I 建機

適 用 範 囲		モ デ ル 名		IPG100B-8E26/4	IPG100T-16E	S34X		
		主仕様	吸 吐 弁 型 式	—	揺動弁	揺動弁	揺動弁	
			最大 吐 出 量	m³/h	100/65	100/55	138	
			最大吐出圧力	MPa	8.1/5.2	15.9/8.6	8.5	
			7"最大地上高	m	26	—	34	
適 用 号 機				DR20001～	DK10001～	DJ0001～		
区 分	検 査 箇 所	検 査 項 目 (条件)	単 位	検 査 基 準 値				
油 圧 装 置	☆油圧機器 セット圧	主油ポンプ油圧	MPa	31/20	31/17	37		
		弁シリンダー油圧	MPa	15/12	15/12	20		
		攪拌モーター油圧	MPa	15	15	20		
		プ ー ム 油 圧	MPa	31	—	—		
		ACC ガス封入圧力	MPa	6.0	6.0	12		
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(1600)	(1800)	(1800)	()	
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)	()	
(作 動 油 温 度)	(℃)	(50±5)	(50±5)	(50±5)	(±)			
車 体 ・ 安 装 全 装 置	☆ 旋回ベアリング 取付けボルト の締付け	外輪取付けボルトの 締め付けトルク	N・m	206+5	—	750+5		
		内輪取付けボルトの 締め付けトルク	N・m	412+5	—	750+5		
		旋回ボルトの交換基準	年	注1	—	注1		
	☆ 旋回作動速度	旋 回 速 度	sec	120±10	—	±	±	
		(旋回作動角度)	(度)	(360)	(—)	(540)	()	
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(1600)	(—)	(1800)	()	
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)	()	
	(作 動 油 温 度)	(℃)	(50±5)	(—)	(50±5)	()		
	アウトリ ガ	シリンダー 自然伸縮量	各垂直シリンダー	mm	1	1	1	
			(測 定 時 間) (作業装置姿勢)	(min) [図面No.]	(10) [図 No. 2]	(10) [図 No. 2]	(10) [図 No. 2]	() [図 No.]
特 記 事 項				吐出圧力高低 圧切替機能付 き 主油圧リフ、 弁圧2段切替	吐出圧力高低 圧切替機能付 き 主油圧リフ、 弁圧2段切替			
				注1 ①3年毎に内輪、外輪ともに全数交換 ②1本でも弛み、脱落、折損があった場合は内輪、 外輪ともに全数交換				

☆印：新車基準値を表す（参考値）。

コンクリートポンプ車

[illegible]

注1

①3年毎に内輪、外輪ともに全数交換

②1本でも弛み、脱落、折損があった場合は内輪、外輪ともに全数交換

I H I 建機

項 目	測 定 方 法	計 測 姿 勢
ブーム シリンダー 自然降下	アウトリガーを最大に張り出し、ブームを真っ直ぐに伸ばした状態で保持する。各ブームシリンダーにダイヤルゲージを取付け、10分間の自然降下量を計測する。 ブーム先端は根元ホースのみとする。	図-1 ブームシリンダー自然降下計測姿勢 (下図参照)
アウトリガー シリンダー 自然降下	ブームを水平に伸ばし、アウトリガー真上位置に置く。アウトリガーにダイヤルゲージを取付け、10分間の自然降下量を計測する。	図-2 アウトリガーシリンダー自然降下計測姿勢 (下図参照)

コンクリートポンプ車

項 目	測 定 方 法	計 測 姿 勢
ブーム作動速度	アウトリガーを最大に張り出し、各ブームシリンダーの全ストロークの作動時間をストップウォッチで計測する。計測姿勢は右記の通り。	図-3 ブーム作動速度計測姿勢 (下図参照)
旋回作動速度	アウトリガーを最大に張り出し、右記のブーム姿勢にて360°旋回の作動時間をストップウォッチで計測する。	図-4 旋回作動速度計測姿勢 (下図参照)